

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成 27 年 1 月 17 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 27 年 2 月 4 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理が出来る様に、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々との連携を密にし安全に安定した生活が出来る様に支援させて頂いております。又、四季折々の情緒を感じて頂く為にスタッフ一同レク係等々がご利用者様の楽しみ方について計画し実施出来る様に支援させて頂いております。(イチゴ狩り、ぶどう狩り、演劇鑑賞、外食、芋焚き、花火観賞等々)お一人お一人の残されている能力を最大限に生かせるように、日々ご利用者様とスタッフと一緒に試行錯誤し『出来る事の継続に』努めさせて頂いております。又音楽療法、回想法を使って脳の活性化に努めさせて頂いております。食事につきましても当グループの農園で採れた旬の野菜を使っての美味しい料理、美味しいおやつ作り等々食べ物への楽しみも笑顔の一つと思ってケアをさせて頂いております。(枝豆が出来たらずんだ餅を作ったりその前に枝豆のさやから豆を取って頂いたりする作業と一緒にさせて頂いたりしております。)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

松山空港に近く、松山市内から伊予郡松前町に抜ける道路沿いにある事業所は、ピンク色の外観が目目を引く建物となっている。会社では同じ地域内で別のグループホームとデイサービスを運営している。事業所では利用者の重度化が進み、協力医と連携しながら看護師資格を持つ管理者を中心に医療的視点を取り入れた介護に取り組んでおり、利用者や家族の安心感に繋がっている。認知症状に合わせた個性を重視し、家庭的な環境の中で和やかな生活を送ってほしいと願う気持ちは、職員の利用者に優しく寄り添いながら接する様子から伺うことができる。事業所として、介護記録など記録を重要なものとして位置づけをしており、利用者の日々の暮らしぶりや変化が分かりやすく記録され、アセスメントなど新たな情報を順次更新しており、利用者一人ひとりの希望や意向を把握して利用者本位のサービスの提供に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ころ

(ユニット名) あんず

記入者(管理者)  
氏名 向井 眞弓美

評価完了日 平成 27 年 1 月 17 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 毎朝、申し送り時、又月1階のミーティング時にこころの基本理念、介護目標を唱和しケアの確認をしながら介護させて頂いております。(地域交流を含めた目標にしております。)</p> <p>(外部評価) 「和み・信頼・尊厳」という基本理念のほか、10項目の介護目標を開設時に作成し、大切に受け継がれている。日々の業務開始時に基本理念等を唱和しているほか、毎月の全体ミーティングで話し合いをして理念を共有し、ケアの礎としている。また、介護目標にもある職員の「気づき」を大切に、職員同士がお互い良い所に着目した視点を持つことにより、日々の実践へ繋がる方向性を話し合うことができている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 松山市大清掃、河川敷掃除等々地域との交流を含めて参加させて頂いております。また、こころ祭りを行い、地域の方々にも参加して頂ける様にチラシを配ったりして交流を図らせて頂いております。地区の会合にも参加させて頂いております。認知症サポーター講習等々にも参加させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 自治会に参加し、地方祭には神輿が立ち寄ってくれたり、市民大清掃や認知症サポーター講習などに参加協力をしている。事業所の「こころ祭り」の開催前には、地域住民にチラシを配布して参加を呼びかけている。事業所周辺の散歩時には、日頃から地域住民と挨拶や会話を交わしたり、ごみ拾いをしたりしている。また、小、中学校や保育所との交流をしたり、職場体験や学生の実習の受け入れをしている。事業所として地域に貢献できることを試みるものの、管理者は今一歩地域に溶け込んでいる実感が持たず、協力者が得られにくい現状もある。</p>	地域性や事業所だけでは解決しない問題もあるが、今後も地道な活動を継続させ、地域住民に事業所の認知度が高まることを期待したい。また、事業所と地域を結ぶ地域住民という支援協力者を獲得し、利用者の地域での暮らしの向上や災害発生時に相互の協力関係が構築ができることを期待したい。様々な取組みを試みる事業所の姿勢は素晴らしく、今後は事業所の特徴を活かした地域貢献を検討したり、地域に協力できることや繋がりを深める新たな取組みを職員間で話し合ったりするなど、実践に繋げることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 市民大清掃、垣生河川敷等々の清掃に参加させて頂いております。また、利用者様との散歩時に水路の鯉、鴨、亀等々に餌をあげたり楽しみながら地域の方々とのコミュニケーションを取ったり、人探しにもスタッフ一同が積極的に参加させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	<p>(自己評価) 2か月に一度運営推進会議を行いホームでの取組み等々報告さ せて頂いております。開催度にご家族様からのご意見等々気軽に お話し、相談等々お聞きできるように意見交換させて頂いており ます。又、一緒にお食事等々して頂きご家族様への関わりが多く なるように出来る限りの参加をお願いしております。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は地域住民、民生委員、市担当者等の参加を得て開 催している。会議と一緒に行事や身近な医療や介護の勉強会を併 せて実施する工夫をしており、毎回多くの家族参加に繋がってい る。会議では事業所の行事などの報告を行うほか、多数の家族か ら素直な思いが聞かれ字魚書は丁寧に回答し出された意見を運 営に反映している。また、議事録を詳細に記録している。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	<p>(自己評価) 介護保険課との連絡を密に取り「？」と思う事は相談に出向い て行ったり、お電話にてご指導を受けたり報告連絡相談をさせ て頂いております。又包括支援センター、GH、小規模多機能連絡 会に参加しは事業所との交流も図っております。</p> <p>(外部評価) 市担当者は運営推進会議に参加し、事業所の様子や運営状況を 伝え、情報やアドバイスをもらっている。地域包括支援センター とも気軽に相談できる関係が築かれ、日頃から相互に協力をし ている。分からないことがあれば直接窓口に出向いて相談し、 実情を伝え助言をもらう姿勢を持っている。また、市や地域 包括支援センターの会議や研修にも参加し、地域の他の事業 所との関係を深めるよう努めている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタ ッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、就床中 ベッドよりの転倒防止の為4点柵はせず、ベッドから落ちて も怪我がないように床にマットを敷き拘束をしまいよう に対応しております。</p> <p>(外部評価) 身体拘束等に関する勉強会を実施したり、外部研修に参加した職 員が毎月のミーティングで伝達をするなど、職員は拘束の具 体的な行為などを正しく理解して拘束をしないケアの実践に 努めている。居室内で転倒事故の危険性のある利用者には 安易にベッド柵を使用することなく職員間で検討し、ベ ッドの高さの調整や床にマットを敷くなどの対応をしてい る。事業所前の道路は交通量が多いため玄関のセンサーを 活用し、職員の見守りを徹底して対応している。センサー マットなどを利用する場合にも使用し続けることなく、 職員間で別の対処方法がないか検討している。また、 声かけの言葉づかいや口調にも気をつけ、気になる場 合は職員同士で声をかけ合うなど、利用者を尊重した 対応ができるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<b>(自己評価)</b> 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、いろいろな訴えに対して無視しない様に出来る限り関わって対応出来る様にスタッフ一同、作業にならない様に心あるケアを目標にさせて頂いております。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<b>(自己評価)</b> 現在意思決定が出来ない方はいませんが徐々に難しくなってきましたので、ご家族様の意向も傾聴しながら対応させて頂いております。スタッフの研修も内部研修、等々でスキルアップ出来る様に努めて行っております。又、生活福祉課共密に連絡を取り身寄りのいない方にも積極的に対応させて頂いております。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<b>(自己評価)</b> 事前にご利用者様、ご家族様に見学に来て頂きその時当事業所の取り組み、出来る事、出来ない事等々契約に関わる事、重要事項説明等々し納得していただいたら、契約を締結するようにしております。介護報酬等々の変更についても十分な説明を行い同意を得て運営させて頂いております。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<b>(自己評価)</b> 運営推進会議時に十分な時間を取って検討したり、しています。その後ミーティング、ケアカンファレンス等々でスタッフに周知出来る様にしケアの向上に努めております。又、外部へは介護保険課包括支援センター、自治会長様等々へはこころ便りと共に報告させて頂いております。	
			<b>(外部評価)</b> 日頃から家族とこまめに連絡を取り、意見を聞いている。運営推進会議への家族の参加も多く、面会時などを含め家族から直接意見を聞く機会を大切にしている。利用者の日々の様子は、介護記録から個別支援経過記録に抜粋し家族に詳細な報告ができるよう工夫をしたり、2か月に1回手紙を送付している。ケアに関する要望が出されることもあり、早期の対応ができるよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会議を行い介護職員からの要望、又は代表者からの連絡事項等々を話し合いが出来るような機会がありミーティング、ケアカンファレンス等々で事業主からの業務連絡等々をスタッフ全員に、申し送り等々で送っております。  (外部評価) 年2回管理者は職員と個人面談をしているほか、その都度気になる職員には様子を観察しながら必要に応じて声かけ、メンタル面にも配慮し落ち着いて業務ができるよう取り組んでいる。毎月のミーティングで意見を出し合うことができるほか、判断を急ぐ場合は当日勤務職員でミーティングを行い職員間で意見を出し合っ て対応している。職員同士が相互のケアから学ぶ謙虚な姿勢が見られ、理念の実践にも活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者より年2回、又は管理者がスタッフの心身の管理が出来る様に、機会を見て面談したりしてスタッフの健康管理をして、勤務評価し代表者に相談しております。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部、外部研修の機会を図り、又必要に応じて外部より来て頂いたりして講習研修の機会を設けています。(包括支援センターにお願いをして認知症研修をしたりしました。)	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH・小規模多機能型の連絡会に参加し他の事業所の方々の悩み、当事業所等々あり方等々気軽に相談できる機会に参加させて頂いております。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 見学時、訪問時に本人様、ご家族様等々とお話を志ご意向をお聞きするようにしております。又、介護支援専門員、相談員ソーシャルワーカー様とも密に連絡を取り、ご要望に添える様に計画作成し、ご利用者様に安心して生活が出来る様にゆっくりと焦らず対応していけるように努めております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学时、又は訪問時、ご利用者様、ご家族様が抱えておられる問題に対して当事業所で出来る事を提案して、ご家族様が安心して任せられるケア、又利用者様が安心して生活が出来る様に連絡を密に取り些細な事でも連絡をして努めております。また、月末には担当者がご様子をお手紙で報告させて頂いております。	
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 定期的な主治医による往診等々外部からの支援も必要に応じて健康的な生活が営めるように努めさせて頂いております。本人様の残されている機能を十分に発揮できるようにご本人様、ご家族様から情報を収集し自立への介護を目標にしております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように体調を伺いながら、出来る事をして頂き、『助けている、、私も役に立っている』という自信を持って生活できるように一緒にして、自信が喜びに変われるように努めております。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様にも関わって頂ける様に機会を設け、ご家族様の役割が十分いかされるように支援させて頂いております。介護技術も不十分であってもそっと見守り安全を確認しながら支援させて頂いております。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今までの生活の中での馴染みの物をもってきて頂き回想法を利用して認知症の進行を防止したりして介護させて頂いております。例えばアルバムをもってきていただいたり馴染みの筆筒をホームでも使って頂いたり、ご本人様の大切な人との時間が過ごせるような環境づくりに努めさせて頂いております。	
			(外部評価) 利用開始前に利用者や家族から聞き取り、アセスメントシートに記録し馴染みの人や関係を把握し、情報を更新している。利用者本人が大切にしてきた習慣をできる限り継続できるよう取り組んでいる。知人や友人の訪問もあり、快く受け入れをしている。また、利用者の希望に応じて、馴染みの場所などに出かけられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<b>(自己評価)</b> ユニットに拘らず18名の方々が寄り添えるようにイベント等共同で参加して頂いたりしてお互いが知らない人でないように、コミュニケーションが取れるような環境づくりに努めています。スタッフも同様に18名様のケアを全員で支援していけるように努めております。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<b>(自己評価)</b> 入院されて退所された時にもご家族様からご様子を知らせていただいたり、死亡で退所されたりしてもこころ祭りにボランティアで参加して下さったり等々気にかけていただいております。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<b>(自己評価)</b> まず、ご本人様のご意向を情報収集時にいろいろとお話をしてケアプランの中に入れてさせていただくことを大切にさせていただきます。例えばカラオケが好きな方、釣りが好きな方、食べることが好きな方等々に、楽しみのある生活ができるように計画をしたりして支援させていただいております。困難な場合にはご家族様を巻き込んでご協力をしていただいております。 <b>(外部評価)</b> 利用開始前に利用者や家族から得た情報を含め、日々の生活の中で利用者が何を求めているか正しく知り、それが生活全般の中でどんな状況から生じているか確認するためにアセスメントシートを大切に活用している。毎月担当職員が新たな情報などアセスメントシートを更新して職員間で話し合い、担当職員だけでなく職員一人ひとりの気づき等の情報を共有し、利用者一人ひとりの希望や意向を把握している。症状の進行など思いや意向の把握が困難な利用者も多く、職員間で利用者の状態や症状に応じた対応を検討して、利用者本人が納得した支援ができるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<b>(自己評価)</b> 過去の情報をご家族様からお聞きしたり、ご本人様からお聞きしたり、病院から来られた方には相談員様からまた、介護支援専門員様から等々お話をお聞きし情報収集しスタッフ全員で共有しケアに役立てるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<b>(自己評価)</b> その方々の持っている力を生かせるように日常のコミュニケーションから見つけていき、できることはお願いをしてみて、できたことにお礼を言うと「お役に立ててうれしいです」とお言葉をいただいたりしています。その喜びに満ちた生活はとても充実感を感じられることが多く一日のリズムにもなってきていると思われれます。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向をお伺いし、問題解決に取り組んでいます。ご本人様の意欲の欠如から目標達成までいけない場合には、ご家族様のご意向を何度となくお聞きしご意向に添えるように計画、実施していき、スタッフ全員で取組みトライアンドエラーで実施しています。(安全を確認しながら・・・)	
			(外部評価) 利用者毎の担当制を取り、毎月のミーティングで担当職員全員で話し合い、管理者と介護支援専門員が介護計画を作成している。また、担当職員全員で話し合い、毎月モニタリングをしている。生活課題は介護記録に記入するほか、必要に応じて個別支援経過記録に抜粋し、職員間で話し合いより良いサービスが提供できるよう検討している。日々の記録は詳細まで書かれ、管理者は利用者や職員、事業所を守るものとして位置づけている。また、必要に応じて介護計画の見直しを行い、利用者の現状に即した介護計画の作成に記録を活かすことができている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って利用者様の体調の変化等々を共有し実施、体調の変化等々により計画の変更、留意点等々を送り日々積み重ねていております。一時の事だったり不可逆だったりいろいろの変化に対応できるようにしてケアカンファレンスに役立てるように記録に残している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個別の要望がほかの方と重なるようであれば、楽しみがある生活への導き、対応させていただいております。食事への執着がある方が外で食事をしたいとのご要望に対して何人かで出かけていき、美味しい物を、また、好きな物を食べていただけるように外食のイベント計画をたてたりとして対応させていただいております。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の公園に出かけて行ったり、散歩のコースに水路の鯉に餌をやったり、カモに餌をやったりして地域の資源を有効に利用して心身のリフレッシュに勤めさせていただいております。(花火鑑賞、花を見たり、木の実幼稚園児と一緒に楽しんだり、小、中学生とのコミュニケーション、)	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入所に当たり主治医を決定していただいております。(時には在宅時に訪問診療を受けておられたDrが来てくださったり)と柔軟に選択ができるようにご希望を優先させていただいております。急変時には主治医へまた、ご家族様へ連絡を取りご意向に添った医療が受けれるように支援させていただいております。 (外部評価) 訪問診療できる協力医などと連携体制を整えており、利用開始時に希望して協力医をかかりつけ医に変更する利用者もいる。今までのかかりつけ医を家族の協力を得て、継続して受診することもできる。管理者は看護師の資格を持ち、これまでの職歴を活かし医療的視点を加えたケアを取り入れ、職員に指導を行うことにより職員のスキルが向上し、利用者や家族の安心感が高まっている。また、医療機関や家族との連携を確実に行うことで、日々の利用者の健康管理を行いながら支援するよう努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 日常の健康状態の変化を介護職から毎日報告を受け日々申し送りに参加しており、王信二Drへ状態報告が適切にできるように報告相談を密にとり日々指示通りに管理できるように支援させていただいております。訪問看護ステーションを利用して適切なアドバイス等々受けれるように体制を整う手おります。(1/W訪問介護を利用)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ご本人様のこれからのケアについてご家族様のご意向、等々お聞きしたうえで、病院との連絡を密にし、リハビリ等々必要ケアについてはご指導を受けてのケア開始できるように支援させていただいております。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご本人様ご家族様の終末期における介護について当ホームでできないこと等々をご説明しご家族様の決定に添った看取りができるように支援させていただいております。終末期をご家族様と一緒に穏やかに迎えられるように主治医、ご家族様への連絡を取り不安なく看取れるようなお手伝いをさせていただいております。 (外部評価) 「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を整備し、契約書を兼ねた重要事項説明書に明記している。利用開始時に事業所として対応できること、できないことを説明するほか、利用者の状態に応じてその都度利用者や家族から意向を確認している。今までに看取りを経験しており、協力医を含めて連携してチーム体制で取り組んでいる。管理者は職員に利用者の状態に合わせて病気の知識などの指導を行いながら、利用者や家族の希望に沿った納得できる支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<b>(自己評価)</b> 常に私（管理者、看護師）に連絡があり、主治医への連絡、ご家族様への連絡体制を整えております。事故時には主治医の指示に従い救急対応ができるように体制を整えております。またスタッフ一人一人が救命対応ができるように、徐々に救命講習に参加させていただいたり、インターネットによる訓練もさせていただいております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<b>(自己評価)</b> 災害時マニュアルを作成し、火災地震、津波等々に備えており2月22日（日）に訓練予定している。火災訓練も同様に訓練をしてスタッフにも防災意識を高めるためにミーティング時等で話し合いをしている備蓄品も充実できるように賞味期限等々のチェックもしている。また外部研修にて災害対策研修にも参加して他事業所との連携も図れるように勤めている。 <b>(外部評価)</b> 運営推進会議と合わせて年2回防災訓練を実施しており、利用者も実際に避難したり、会議の参加者や家族と一緒に訓練をしている。消防署からアドバイスをもらい、初期消火の重要性を確認しながら訓練を実施するほか、階段が急なためオリジナルのキャリー用品を使用して安全に避難しやすい移動方法などを試みている。火災や地震、津波等の各災害対策マニュアルが整備されている。地域との協力体制づくりとして近隣住民への声かけを行っているが確実な協力者を得られておらず、管理者は緊急連絡網の伝達にも不安を感じている。また、水や食料品、カセットコンロ、毛布などの備蓄品を用意している。	管理者は災害に対する危機感を持っており、様々な災害を想定した訓練を実施したり建物構造を踏まえて利用者が安全に避難できる工夫をしたり、対策を検討している。自力での避難が難しい利用者が多く、夜間や緊急時の職員の不安は大きいと、規定の防災訓練以外にも自主的な防災への取組みや訓練を実施するなど、職員間で気づきを出し合い振り返りを行うことを期待したい。また、地域住民との相互の協力体制づくりや緊急連絡網の確実な伝達は緊急時の重要な項目であるため、職員一丸となって早期に取り組むことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<b>(自己評価)</b> 排泄のことをお聞きするとき等々大きな声で皆さんの前で聞かないように留意したり、お声掛けに配慮したり、失禁時、入浴時秘密の部分にも配慮するように勤めさせていただいております。ほかの利用者様が罵倒したりする方もおられるので、その時には少しお声掛けをしてみんなで一緒に見守られるように勤めさせていただいております。 <b>(外部評価)</b> 利用者の尊厳は事業所理念であり、職員は人格を尊重して利用者に合わせて声かけをしている。利用者が言葉を理解しやすいよう、メッセージボードを活用する工夫もしている。職員同士が利用者の集う場所で話す場合には、居室番号を用いて利用者が特定できないよう配慮し、書類等の個人情報も適切な取り扱いをしている。特に排泄時や入浴時など身体を晒す場では羞恥心や尊厳に配慮した対応を心がけ、カーテンを利用するなど工夫した支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<b>(自己評価)</b> 沢山の選択が難しい方に対して自己決定しやすいようにあらかじめこちらが選びやすいように支援させていただいております。季節に応じた衣服がご自分の選択で選べれるように支援したりしています。（夏服も冬服もわからない方等々）	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけお部屋での閉じこもりはしてほしくないのですが、ご満足できるようにお話ができる方々とのコミュニケーションが図れるような環境を作ったりしつつ、お好きなことができるような時間を作ったりと健康的な生活も踏まえながらも共同生活ができるように支援させていただいております。時間がかかってもこちらで動きやすいように介助しないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性を押し付けないように、こちらが変ではないかなあ？と思われる事も本人様の選択を尊重し、その思いを大切にしています。顔を洗えない方にはタオルをお渡ししたり、時には拭いて差し上げたりと適宜対応をさせていただいております。 (モーニングケア)	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好き嫌いの情報をもとに嫌いなものは押し付けずその方にあったような支援をごさせていただいております。また芋の皮をむいていただいたりして作る喜びも味わっていただきご自分で下準備したものを食べる喜びも味わってもらっております。おやつ等々も時には一緒に作っていただいたりして楽しんでいただいております。 (外部評価) 調理専属の職員が配置され、畑で取れた野菜や旬の食材をふんだんに取り入れて調理している。職員と利用者が同じ食卓を囲み、会話をはずませ楽しみながら同じ食事をしている。調理の下ごしらえや下膳など手伝う利用者もおり、自宅での習慣を楽しみながらすることにより、やりがいを感じ活き活きとした笑顔を取り戻すことにも繋がっている。また、とろみなど利用者の状態にあわせた食事を提供している。回転寿司などの外食を楽しむこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々計測し健康管理を含めて、またs 辻井のご指導を受け脳梗塞、脱水防止等々認知症悪化防止も含めて支援させていただいております。水分摂取は少量ずつ頻回にを心掛けております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日昼食前に口腔体操をして嚥下がスムーズに継続できるように全員に実施しております。(モアブラシによるマッサージ ほか口腔体操を誤嚥性肺炎防止のためにも実施しております。) 毎食後の歯磨き、入れ歯の手入れ等々もさせていただいております。また、訪問歯科による口腔ケア診察もお願いしております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価) 座位保持ができる限りトイレでの排泄を心掛けております。現在深夜一人での排泄介助のみ二人体制の利用者様はおむつ使用とし介助者が二人いる時にはリハビリパンツにてトイレでの排泄介助とさせていただきます。(緩下剤、下剤等々の薬を利用しての排便コントロールの方が多くくなってきております。)</p> <p>(外部評価) 排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導をするなどの排泄支援をしている。排泄介助時には利用者の羞恥心や尊厳に配慮し、プライバシーの確保を心がけている。扉の開閉が複雑に思われるトイレにはカーテンを用い、他の利用者を気にすることなく利用してもらえよう工夫している。排泄用品の担当職員を中心に経費削減など改善に向けた検討ができており、状態や身体機能に合わせた支援をしている。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価) みんなで行う体操、個別のリハビリ等々で腸の蠕動運動が活発になるようにマッサージを行ったりしてフォローさせていただいております。また、繊維食にも注意しおやつに蒸しイモを食べていただいたり繊維食事を多くとれるように料理にも配慮しております。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価) 気右折におおじてゆず湯、しょうぶ湯等々季節を感じながら入浴を楽しんでいただいております。また、入浴が嫌いな方に対しては穏やかに受け入れられるようなお声掛けをしたり、入浴後美味しい飲み物が出ますので・・・等々何かを駆け引きに使う子もあつたりして清潔保持、入浴の目的が生かされるように支援させていただいております。</p> <p>(外部評価) ユニット毎に個別浴槽と座ったままシャワー浴のできる座シャワーがあり、2階の浴室にはリフトも設置され、利用者の状態に応じて使用し、安心安全に入浴できるよう支援している。入浴ができない場合には、清拭や足浴を行い清潔保持に努めている。ウッドデッキで外の景色を眺めながら足浴を楽しむこともある。入浴を嫌う利用者には無理強いすることなく、声かけのタイミングや誘い方を工夫している。また、季節湯の実施は利用者の楽しみとなっている。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価) 昼夜逆転がみられる方には日中活動できるようにイベントに参加していただいたり、お昼寝の時間を決めてリズムのある生活ができ、夜は休む、体内時計のコントロールにも留意させていただいております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否がみられる時には時間をとおいてお声掛けをしたり、スタッフの交代をしたりと穏やかになるのを待って服薬を確実にできるようにさせていただいております。服薬ミスがないようにご本人様のチェックをスタッフでダブルチェックをしそのうえトリプルチェックし確認印を押すように十分に注意して服薬確認をさせていただきます。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用でお裁縫が得意な利用者様にズボンのほつれや破れを修理していただいたりしております。また、幼稚園へのプレゼントに雑巾を縫って頂いたりして喜んでいただける喜びを感じていただいております。料理については当ホームの畑で収穫できた野菜のしして準備を一緒に手伝って頂いたりしてできる喜びまた、優越感にしたっていただけてると感じています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) イベントの参加により演劇鑑賞、伊予漫才鑑賞ボランティアによるフラダンス等々楽しみのある外出支援をさせていただいております、また個別に買い物等々の要望に対して近くのスーパー（エミフル）等々に出かけてゆき楽しみのある生活への支援をさせていただいております。 (外部評価) 利用者の希望に沿って、日頃から散歩や中庭を眺めながら外気浴をしている。定期的に外出できるよう支援しており、ドライブや買い物、外食などを楽しむことができる。季節に応じて、家族の協力を得ながら花見やぶどう狩りなどにも出かけている。車いす利用者も多いため少人数での外出が多くなっているが、普段の生活とは違った気分転換のできる機会と捉え、数多くの外出をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の方、お金を持ち外出するとアルコールに走る方、お金の理解が亡くなった方が居られる為ホームでの現金は置かないようにしております。必要に応じて適宜スタッフと一緒に買い買い物は自由に買っていただいております。高額な買い物に関してはご家族様と一緒に外出して楽しんでいただいております。使用金額については事前にご家族様に連絡を取らせていただいております。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書かれる方については積極的に切手をご用意したり、ご家族様への連絡を希望される方についてはその都度リーダー、管理者等々が対応できるような体制を作っております。面会も少なくストレスを感じておられる様子が見られるときにはこちらからお電話させていただくこともあります。お声を聴くと落ち着かれる場合もあるので・・・	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節を身近に感じられるように廊下や壁に季節感のあるものを飾ってみたり、雰囲気作りにも勤めております。失禁があり匂いが充満しないように香りへの配慮も欠かさずさせていただいております。お部屋にはご家族様との写真だったり、孤独を感じないような環境にも注意させていただいております。</p> <p>(外部評価) 事業所内は床暖房が設置され、冬場でも快適に過ごすことができる。玄関から廊下にかけて、利用者の移動の妨げにならないよう不要な物を置かない配慮をしている。自由に出入りすることのできるベランダは広く、1階にいる利用者が2階にいる利用者に声をかけることもあるなど、お茶を飲んだり外気浴や会話を楽しんだりするなど気分転換を図る場所として活用されている。金魚が飼われており、利用者がえさやりをするなど目を楽しまれてきている。事業所は開設して10年が経過し、利用者の重度化も進んできているため、利用しやすいよう改修や改善に向けて検討している。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングにあるソファに休んでいただいたりして居室で一人ぼっちで過ごすことのないようにみんなの中で落ち着いたスペースとなるように支援したり、各々の力に応じた脳トレをしていただき楽しんで脳の活性化ができたり、写経を楽しまれる方等々共用の場所が居心地の良い場所となるように環境づくりに努めさせていただいております。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 孤独にならないようにご家族様との写真を置いたり、ご家族様がもってきてくださったものを置いたり（お花、ぬいぐるみ等々）してご自分の部屋にいて家族を感じられるよう、また、好きな子田ができるように安全なスペースづくりにも配慮させていただいております。</p> <p>(外部評価) 居室は床暖房が設置され、冬場にも快適に過ごすことができる。事業所では居室に馴染みのものや使い慣れたものを持ち込めることを伝えており、花や観葉植物を飾っている部屋があるなど、利用者に過ごしやすい空間づくりをしている。居室内の清潔は保たれ、気になる臭いなどの対策もしている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 残された力でお二人で協力してタオルをたたんだり、食事用のエプロンをたたんでいただいたり、料理の下準備をしていた抱いたり、汚物処理のための新聞紙を一枚ずつ折って頂いたり、洗濯物を干していただいたりご自分の洗濯物を整理していただいたりとお自立の喜びを長く感じていただけるように支援させていただいております。</p>	

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870103664
法人名	有限会社 トータルケア果の実
事業所名	グループホーム ころ
所在地	松山市西垣生町575-6
自己評価作成日	平成 27 年 1 月 15 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 27 年 2 月 4 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の健康管理が出来る様に、訪問診療、訪問歯科、訪問看護等々との連携を密にし安全に安定した生活が出来る様に支援させて頂いております。又、四季折々の情緒を感じて頂く為にスタッフ一同レク係等々がご利用者様の楽しみ方について計画し実施出来る様に支援させて頂いております。(イチゴ狩り、ぶどう狩り、演劇鑑賞、外食、芋焚き、花火観賞等々)お一人お一人の残されている能力を最大限に生かせるように、日々ご利用者様とスタッフと一緒に試行錯誤し『出来る事の継続に』努めさせて頂いております。又音楽療法、回想法を使って脳の活性化に努めさせて頂いております。食事につきましても当グループの農園で採れた旬の野菜を使っての美味しい料理、美味しいおやつ作り等々食べ物への楽しみも笑顔の一つと思ってケアをさせて頂いております。(枝豆が出来たらずんだ餅を作ったりその前に枝豆のさやから豆を取って頂いたりする作業と一緒にさせて頂いたりしております。)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

松山空港に近く、松山市内から伊予郡松前町に抜ける道路沿いにある事業所は、ピンク色の外観が目目を引く建物となっている。会社では同じ地域内で別のグループホームとデイサービスを運営している。事業所では利用者の重度化が進み、協力医と連携しながら看護師資格を持つ管理者を中心に医療的視点を取り入れた介護に取り組んでおり、利用者や家族の安心感に繋がっている。認知症状に合わせた個性を重視し、家庭的な環境の中で和やかな生活を送ってほしいと願う気持ちは、職員の利用者に優しく寄り添いながら接する様子から伺うことができる。事業所として、介護記録など記録を重要なものとして位置づけをしており、利用者の日々の暮らしぶりや変化が分かりやすく記録され、アセスメントなど新たな情報を順次更新しており、利用者一人ひとりの希望や意向を把握して利用者本位のサービスの提供に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ころ

(ユニット名) かりん

記入者(管理者)  
氏名 向井 真弓美

評価完了日 平成 27 年 1 月 15 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 毎朝、申し送り時、又月1階のミーティング時にこころの基本理念、介護目標を唱和しケアの確認をしながら介護させて頂いております。(地域交流を含めた目標にしております。)</p> <p>(外部評価) 「和み・信頼・尊厳」という基本理念のほか、10項目の介護目標を開設時に作成し、大切に受け継がれている。日々の業務開始時に基本理念等を唱和しているほか、毎月の全体ミーティングで話し合いをして理念を共有し、ケアの礎としている。また、介護目標にもある職員の「気づき」を大切にして、職員同士がお互い良い所に着目した視点を持つことにより、日々の実践へ繋がる方向性を話し合うことができている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 松山市大清掃、河川敷掃除等々地域との交流を含めて参加させて頂いております。また、こころ祭りを行い、地域の方々にも参加して頂ける様にチラシを配ったりして交流を図らせて頂いております。地区の会合にも参加させて頂いております。認知症サポーター講習等々にも参加させて頂いております。</p> <p>(外部評価) 自治会に参加し、地方祭には神輿が立ち寄ってくれたり、市民大清掃や認知症サポーター講習などに参加協力をしている。事業所の「こころ祭り」の開催前には、地域住民にチラシを配布して参加を呼びかけている。事業所周辺の散歩時には、日頃から地域住民と挨拶や会話を交わしたり、ごみ拾いをしたりしている。また、小、中学校や保育所との交流をしたり、職場体験や学生の実習の受け入れをしている。事業所として地域に貢献できることを試みるものの、管理者は今一歩地域に溶け込んでいる実感が持たず、協力者が得られにくい現状もある。</p>	地域性や事業所だけでは解決しない問題もあるが、今後も地道な活動を継続させ、地域住民に事業所の認知度が高まることを期待したい。また、事業所と地域を結ぶ地域住民という支援協力者を獲得し、利用者の地域での暮らしの向上や災害発生時に相互の協力関係が構築ができることを期待したい。様々な取組みを試みる事業所の姿勢は素晴らしく、今後は事業所の特徴を活かした地域貢献を検討したり、地域に協力できることや繋がりを深める新たな取組みを職員間で話し合ったりするなど、実践に繋げることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 市民大清掃、垣生河川敷等々の清掃に参加させて頂いております。また、利用者様との散歩時に水路の鯉、鴨、亀等々に餌をあげたり楽しみながら地域の方々とのコミュニケーションを取ったり、人探しにもスタッフ一同が積極的に参加させて頂いております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	<p>(自己評価) 2か月に一度運営推進会議を行いホームでの取組み等々報告さ せて頂いております。開催度にご家族様からのご意見等々気軽に お話し、相談等々お聞きできるように意見交換させて頂いており ます。又、一緒にお食事等々して頂きご家族様への関わりが多く なるように出来る限りの参加をお願いしております。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議は地域住民、民生委員、市担当者等の参加を得て開 催している。会議と一緒に行事や身近な医療や介護の勉強会を併 せて実施する工夫をしており、毎回多くの家族参加に繋がってい る。会議では事業所の行事などの報告を行うほか、多数の家族か ら素直な思いが聞かれ字魚書は丁寧に回答し出された意見を運営 に反映している。また、議事録を詳細に記録している。</p>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	<p>(自己評価) 介護保険課との連絡を密に取り「？」と思う事は相談に出向い て行ったり、お電話にてご指導を受けたり報告連絡相談をさせて 頂いております。又包括支援センター、GH、小規模多機能連絡会 に参加しは事業所との交流も図っております。</p> <p>(外部評価) 市担当者は運営推進会議に参加し、事業所の様子や運営状況を伝 え、情報やアドバイスももらっている。地域包括支援センターと も気軽に相談できる関係が築かれ、日頃から相互に協力をしてい る。分からないことがあれば直接窓口に出向いて相談し、実情を 伝え助言をもらう姿勢を持っている。また、市や地域包括支援セ ンターの会議や研修にも参加し、地域の他の事業所との関係を深 めるよう努めている。</p>	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッ フへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、就床中 ベッドよりの転倒防止の為4点柵はせず、ベッドから落ちて怪 我がないように床にマットを敷き拘束をしまいように対応して おります。</p> <p>(外部評価) 身体拘束等に関する勉強会を実施したり、外部研修に参加した職 員が毎月のミーティングで伝達をするなど、職員は拘束の具体的 な行為などを正しく理解して拘束をしないケアの実践に努めてい る。居室内で転倒事故の危険性のある利用者には安易にベッド柵 を使用することなく職員間で検討し、ベッドの高さの調整や床に マットを敷くなどの対応をしている。事業所前の道路は交通量 が多いため玄関のセンサーを活用し、職員の見守りを徹底して 対応している。センサーマットなどを利用する場合にも使用し 続けることなく、職員間で別の対処方法がないか検討している。 また、声かけの言葉づかいや口調にも気をつけ、気になる場合は職員 同士で声をかけ合うなど、利用者を尊重した対応ができるよう 取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 内部研修、ミーティングの際虐待、拘束等々の研修をしてスタッフへのスキルアップに努めさせて頂いております。また、いろいろな訴えに対して無視しない様に出来る限り関わって対応出来る様にスタッフ一同、作業にならない様に心あるケアを目標にさせて頂いております。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在意思決定が出来ない方はいませんが徐々に難しくなってきましたので、ご家族様の意向も傾聴しながら対応させて頂いております。スタッフの研修も内部研修、等々でスキルアップ出来る様に努めて行っております。又、生活福祉課共密に連絡を取り身寄りのいない方にも積極的に対応させて頂いております。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前にご利用者様、ご家族様に見学に来て頂きその時当事業所の取り組み、出来る事、出来ない事等々契約に関わる事、重要事項説明等々し納得していただいたら、契約を締結するようにしております。介護報酬等々の変更についても十分な説明を行い同意を得て運営させて頂いております。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時に十分な時間を取って検討したり、しています。その後ミーティング、ケアカンファレンス等々でスタッフに周知出来る様にしケアの向上に努めております。又、外部へは介護保険課包括支援センター、自治会長様等々へはこころ便りと共に報告させて頂いております。  (外部評価) 日頃から家族とこまめに連絡を取り、意見を聞いている。運営推進会議への家族の参加も多く、面会時などを含め家族から直接意見を聞く機会を大切にしている。利用者の日々の様子は、介護記録から個別支援経過記録に抜粋し家族に詳細な報告ができるよう工夫をしたり、2か月に1回手紙を送付している。ケアに関する要望が出されることもあり、早期の対応ができるよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 管理者より年2回、又は管理者がスタッフの心身の管理が出来る様に、機会を見て面談したりしてスタッフの健康管理をして、勤務評価し代表者に相談しております。</p> <p>(外部評価) 年2回管理者は職員と個人面談をしているほか、その都度気になる職員には様子を観察しながら必要に応じて声かけ、メンタル面にも配慮し落ち着いて業務ができるよう取り組んでいる。毎月のミーティングで意見を出し合うことができるほか、判断を急ぐ場合は当日勤務職員でミーティングを行い職員間で意見を出し合っ て対応している。職員同士が相互のケアから学ぶ謙虚な姿勢が見られ、理念の実践にも活かされている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) GH・小規模多機能型の連絡会に参加し他の事業所の方々の悩み、当事業所等々あり方等々気軽に相談できる機会に参加させて頂いております。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 内部、外部研修の機会を図り、又必要に応じて外部より来て頂いたりして講習研修の機会を設けています。(包括支援センターにお願いをして認知症研修をしたりしました。)</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) GH・小規模多機能型の連絡会に参加し他の事業所の方々の悩み、当事業所等々あり方等々気軽に相談できる機会に参加させて頂いております。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 見学時、訪問時に本人様、ご家族様等々とお話を志ご意向をお聞きするようにしております。又、介護支援専門員、相談員ソーシャルワーカー様とも密に連絡を取り、ご要望に添える様に計画作成し、ご利用者様に安心して生活ができる様にゆっくりと焦らず対応していけるように努めております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学时、又は訪問時、ご利用者様、ご家族様が抱えておられる問題に対して当事業所で出来る事を提案して、ご家族様が安心して任せられるケア、又利用者様が安心して生活が出来る様に連絡を密に取り些細な事でも連絡をして努めております。また、月末には担当者がご様子をお手紙で報告させて頂いております。	
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 定期的な主治医による往診等々外部からの支援も必要に応じて健康的な生活が営めるように努めさせて頂いております。本人様の残されている機能を十分に発揮できるようにご本人様、ご家族様から情報を収集し自立への介護を目標にしております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 残された機能を十分に発揮できるように体調を伺いながら、出来る事をして頂き、『助けている、、私も役に立っている』という自信を持って生活できるように一緒にして、自信が喜びに変われるように努めております。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様にも関わって頂ける様に機会を設け、ご家族様の役割が十分いかされるように支援させて頂いております。介護技術も不十分であってもそっと見守り安全を確認しながら支援させて頂いております。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 今までの生活の中での馴染みの物をもってきて頂き回想法を利用して認知症の進行を防止したりして介護させて頂いております。例えばアルバムをもってきていただいたり馴染みの筆筒をホームでも使って頂いたり、ご本人様の大切な人との時間が過ごせるような環境づくりに努めさせて頂いております。 (外部評価) 利用開始前に利用者や家族から聞き取り、アセスメントシートに記録し馴染みの人や関係を把握し、情報を更新している。利用者本人が大切にしてきた習慣をできる限り継続できるよう取り組んでいる。知人や友人の訪問もあり、快く受け入れをしている。また、利用者の希望に応じて、馴染みの場所などに出かけられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ユニットに拘らず18名の方々が寄り添えるようにイベント等合同で参加して頂いたりしてお互いが知らない人でないように、コミュニケーションが取れるような環境づくりに努めています。スタッフも同様に18名様のケアを全員で支援していけるように努めております。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院されて退所された時にもご家族様からご様子を知らせていただいたり、死亡で退所されたりしてもこころ祭りにボランティアで参加して下さったり等々気にかけていただいております。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) まず、ご本人様のご意向を情報収集時にいろいろとお話をしてケアプランの中に入れさせていただくことを大切にさせていただきます。例えばカラオケが好きな方、釣りが好きな方、食べることが好きな方等々に、楽しみのある生活ができるように計画をしたりして支援させていただいております。困難な場合にはご家族様を巻き込んでご協力をしていただいております。 (外部評価) 利用開始前に利用者や家族から得た情報を含め、日々の生活の中で利用者が何を求めているか正しく知り、それが生活全般の中でどんな状況から生じているか確認するためにアセスメントシートを大切に活用している。毎月担当職員が新たな情報などアセスメントシートを更新して職員間で話し合い、担当職員だけでなく職員一人ひとりの気づき等の情報を共有し、利用者一人ひとりの希望や意向を把握している。症状の進行など思いや意向の把握が困難な利用者も多く、職員間で利用者の状態や症状に応じた対応を検討して、利用者本人が納得した支援ができるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 過去の情報をご家族様からお聞きしたり、ご本人様からお聞きしたり、病院から来られた方には相談員様からまた、介護支援専門員様から等々お話をお聞きし情報収集しスタッフ全員で共有しケアに役立てるように努めております。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その方々の持っている力を生かせるように日常のコミュニケーションから見つけていき、できることはお願いをしてみて、できたことにお礼を言うと「お役に立ててうれしいです」とお言葉をいただいたりしています。その喜びに満ちた生活はとても充実感を感じられることが多く一日のリズムにもなってきていると思われれます。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) ご本人様、ご家族様のご意向をお伺いし、問題解決に取り組んでいます。ご本人様の意欲の欠如から目標達成までいけない場合には、ご家族様のご意向を何度となくお聞きしご意向に添えるように計画、実施していき、スタッフ全員で取組みトライアンドエラーで実施しています。(安全を確認しながら・・・)</p> <p>(外部評価) 利用者毎の担当制を取り、毎月のミーティングで担当職員全員で話し合い、管理者と介護支援専門員が介護計画を作成している。また、担当職員全員で話し合い、毎月モニタリングをしている。生活課題は介護記録に記入するほか、必要に応じて個別支援経過記録に抜粋し、職員間で話し合いより良いサービスが提供できるよう検討している。日々の記録は詳細まで書かれ、管理者は利用者や職員、事業所を守るものとして位置づけている。また、必要に応じて介護計画の見直しを行い、利用者の現状に即した介護計画の作成に記録を活かすことができている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 毎日の午前、午後の申し送り等を使って利用者様の体調の変化等々を共有し実施、体調の変化等々により計画の変更、留意点等々を送り日々積み重ねていております。一時の事だったり不可逆だったりいろいろの変化に対応できるようにしてケアカンファレンスに役立てるように記録に残している。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 個別の要望がほかの方と重なるようであれば、楽しみがある生活への導き、対応させていただいております。食事への執着がある方が外で食事をしたいとのご要望に対して何人かで出かけていき、美味しい物を、また、好きな物を食べていただけるように外食のイベント計画をたてたりとして対応させていただいております。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 地域の公園に出かけて行ったり、散歩のコースに水路の鯉に餌をやったり、カモに餌をやったりして地域の資源を有効に利用して心身のリフレッシュに勤めさせていただいております。(花火鑑賞、花を見たり、木の実幼稚園児と一緒に楽しんだり、小、中学生とのコミュニケーション、)</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入所に当たり主治医を決定していただいております。(時には在宅時に訪問診療を受けておられたDrが来てくださったり)と柔軟に選択ができるようにご希望を優先させていただいております。急変時には主治医へまた、ご家族様へ連絡を取りご意向に添った医療が受けれるように支援させていただいております。 (外部評価) 訪問診療できる協力医などと連携体制を整えており、利用開始時に希望して協力医をかかりつけ医に変更する利用者もいる。今までのかかりつけ医を家族の協力を得て、継続して受診することもできる。管理者は看護師の資格を持ち、これまでの職歴を活かし医療的視点を加えたケアを取り入れ、職員に指導を行うことにより職員のスキルが向上し、利用者や家族の安心感が高まっている。また、医療機関や家族との連携を確実に行うことで、日々の利用者の健康管理を行いながら支援するよう努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 日常の健康状態の変化を介護職から毎日報告を受け日々申し送りに参加しており、王信二Drへ状態報告が適切にできるように報告相談を密にとり日々指示通りに管理できるように支援させていただいております。訪問看護ステーションを利用して適切なアドバイス等々受けれるように体制を整う手おります。(1/W訪問介護を利用)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ご本人様のこれからのケアについてご家族様のご意向、等々お聞きしたうえで、病院との連絡を密にし、リハビリ等々必要ケアについてはご指導を受けてのケア開始できるように支援させていただいております。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご本人様ご家族様の終末期における介護について当ホームでできないこと等々をご説明しご家族様の決定に添った看取りができるように支援させていただいております。終末期をご家族様と一緒に穏やかに迎えられるように主治医、ご家族様への連絡を取り不安なく看取れるようなお手伝いをさせていただいております。 (外部評価) 「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を整備し、契約書を兼ねた重要事項説明書に明記している。利用開始時に事業所として対応できること、できないことを説明するほか、利用者の状態に応じてその都度利用者や家族から意向を確認している。今までに看取りを経験しており、協力医を含めて連携してチーム体制で取り組んでいる。管理者は職員に利用者の状態に合わせて病気の知識などの指導を行いながら、利用者や家族の希望に沿った納得できる支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 常に私（管理者、看護師）に連絡があり、主治医への連絡、ご家族様への連絡体制を整えております。事故時には主治医の指示に従い救急対応ができるように体制を整えております。またスタッフ一人一人が救命対応ができるように、徐々に救命講習に参加させていただいたり、インターネットによる訓練もさせていただいております。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時マニュアルを作成し、火災地震、津波等々に備えており2月22日（日）に訓練予定している。火災訓練も同様に訓練をしてスタッフにも防災意識を高めるためにミーティング時等で話し合いをしている備蓄品も充実できるように賞味期限等々のチェックもしている。また外部研修にて災害対策研修にも参加して他事業所との連携も図れるように勤めている。 (外部評価) 運営推進会議と合わせて年2回防災訓練を実施しており、利用者も実際に避難したり、会議の参加者や家族と一緒に訓練をしている。消防署からアドバイスをもらい、初期消火の重要性を確認しながら訓練を実施するほか、階段が急なためオリジナルのキャリー用品を使用して安全に避難しやすい移動方法などを試みている。火災や地震、津波等の各災害対策マニュアルが整備されている。地域との協力体制づくりとして近隣住民への声かけを行っているが確実な協力者を得られておらず、管理者は緊急連絡網の伝達にも不安を感じている。また、水や食料品、カセットコンロ、毛布などの備蓄品を用意している。	管理者は災害に対する危機感を持っており、様々な災害を想定した訓練を実施したり建物構造を踏まえて利用者が安全に避難できる工夫をしたり、対策を検討している。自力での避難が難しい利用者が多く、夜間や緊急時の職員の不安は大きいと、規定の防災訓練以外にも自主的な防災への取組みや訓練を実施するなど、職員間で気づきを出し合い振り返りを行うことを期待したい。また、地域住民との相互の協力体制づくりや緊急連絡網の確実な伝達は緊急時の重要な項目であるため、職員一丸となって早期に取り組むことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 排泄のことをお聞きするとき等々大きな声で皆さんの前で聞かないように留意したり、お声掛けに配慮したり、失禁時、入浴時秘密の部分にも配慮するように勤めさせていただいております。ほかの利用者様が罵倒したりする方もおられるので、その時には少しお声掛けをしてみんなで一緒に見守られるように勤めさせていただいております。 (外部評価) 利用者の尊厳は事業所理念であり、職員は人格を尊重して利用者に合わせて声かけをしている。利用者が言葉を理解しやすいよう、メッセージボードを活用する工夫もしている。職員同士が利用者の集う場所で話す場合には、居室番号を用いて利用者が特定できないよう配慮し、書類等の個人情報も適切な取り扱いをしている。特に排泄時や入浴時など身体を晒す場では羞恥心や尊厳に配慮した対応を心がけ、カーテンを利用するなど工夫した支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 沢山の選択が難しい方に対して自己決定しやすいようにあらかじめこちらが選びやすいように支援させていただいております。季節に応じた衣服がご自分の選択で選べれるように支援したりしています。（夏服も冬服もわからない方等々）	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけお部屋での閉じこもりはしてほしくないのですが、ご満足できるようにお話ができる方々とのコミュニケーションが図れるような環境を作ったりしつつ、お好きなことができるような時間を作ったりと健康的な生活も踏まえながらも共同生活ができるように支援させていただいております。時間がかかってもこちらで動きやすいように介助しないようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) こちらの感性を押し付けないように、こちらが変ではないかなあ？と思われる事も本人様の選択を尊重し、その思いを大切にしています。顔を洗えない方にはタオルをお渡ししたり、時には拭いて差し上げたりと適宜対応をさせていただいております。 (モーニングケア)	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 好き嫌いの情報をもとに嫌いなものは押し付けずその方にあったような支援をごさせていただいております。また芋の皮をむいていただいたりして作る喜びも味わっていただきご自分で下準備したものを食べる喜びも味わってもらっております。おやつ等々も時には一緒に作っていただいたりして楽しんでいただいております。 (外部評価) 調理専属の職員が配置され、畑で取れた野菜や旬の食材をふんだんに取り入れて調理している。職員と利用者が同じ食卓を囲み、会話をはずませ楽しみながら同じ食事をしている。調理の下ごしらえや下膳など手伝う利用者もおり、自宅での習慣を楽しみながらすることにより、やりがいを感じ活き活きとした笑顔を取り戻すことにも繋がっている。また、とろみなど利用者の状態にあわせた食事を提供している。回転寿司などの外食を楽しむこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量、水分摂取量等々計測し健康管理を含めて、またs 辻井のご指導を受け脳梗塞、脱水防止等々認知症悪化防止も含めて支援させていただいております。水分摂取は少量ずつ頻回にを心掛けております。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎日昼食前に口腔体操をして嚥下がスムーズに継続できるように全員に実施しております。(モアブラシによるマッサージ ほか口腔体操を誤嚥性肺炎防止のためにも実施しております。) 毎食後の歯磨き、入れ歯の手入れ等々もさせていただいております。また、訪問歯科による口腔ケア診察もお願いしております。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 座位保持ができる限りトイレでの排泄を心掛けております。現在深夜一人での排泄介助のみ二人体制の利用者様はおむつ使用とし介助者が二人いる時にはリハビリパンツにてトイレでの排泄介助とさせていただきます。(緩下剤、下剤等々の薬を利用しての排便コントロールの方が多くくなってきております。)</p> <p>(外部評価) 排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導をするなどの排泄支援をしている。排泄介助時には利用者の羞恥心や尊厳に配慮し、プライバシーの確保を心がけている。扉の開閉が複雑に思われるトイレにはカーテンを用い、他の利用者を気にすることなく利用してもらえよう工夫している。排泄用品の担当職員を中心に経費削減など改善に向けた検討ができており、状態や身体機能に合わせた支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) みんなで行う体操、個別のリハビリ等々で腸の蠕動運動が活発になるようにマッサージを行ったりしてフォローさせていただいております。また、繊維食にも注意しおやつに蒸しイモを食べていただいたり繊維食事を多くとれるように料理にも配慮しております。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 気右折におおじてゆず湯、しょうぶ湯等々季節を感じながら入浴を楽しんでいただいております。また、入浴が嫌いな方に対しては穏やかに受け入れられるようなお声掛けをしたり、入浴後美味しい飲み物が出ますので・・・等々何かを駆け引きに使う子もあつたりして清潔保持、入浴の目的が生かされるように支援させていただいております。</p> <p>(外部評価) ユニット毎に個別浴槽と座ったままシャワー浴のできる座シャワーがあり、2階の浴室にはリフトも設置され、利用者の状態に応じて使用し、安心安全に入浴できるよう支援している。入浴ができない場合には、清拭や足浴を行い清潔保持に努めている。ウッドデッキで外の景色を眺めながら足浴を楽しむこともある。入浴を嫌う利用者には無理強いすることなく、声かけのタイミングや誘い方を工夫している。また、季節湯の実施は利用者の楽しみとなっている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 昼夜逆転がみられる方には日中活動できるようにイベントに参加していただいたり、お昼寝の時間を決めてリズムのある生活ができ、夜は休む、体内時計のコントロールにも留意させていただいております。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬拒否がみられる時には時間をとおいてお声掛けをしたり、スタッフの交代をしたりと穏やかになるのを待って服薬を確実にできるようにさせていただいております。服薬ミスがないようにご本人様のチェックをスタッフでダブルチェックをしそのうえトリプルチェックし確認印を押すように十分に注意して服薬確認をさせていただいております。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 手先が器用でお裁縫が得意な利用者様にズボンのほつれや破れを修理していただいたりしております。また、幼稚園へのプレゼントに雑巾を縫って頂いたりして喜んでいただける喜びを感じていただいております。料理については当ホームの畑で収穫できた野菜のして準備を一緒に手伝って頂いたりとしてできる喜びまた、優越感にしたっていただけてると感じています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) イベントの参加により演劇鑑賞、伊予漫才鑑賞ボランティアによるフラダンス等々楽しみのある外出支援をさせていただいております、また個別に買い物等々の要望に対して近くのスーパー（エミフル）等々に出かけてゆき楽しみのある生活への支援をさせていただいております。 (外部評価) 利用者の希望に沿って、日頃から散歩や中庭を眺めながら外気浴をしている。定期的に外出できるよう支援しており、ドライブや買い物、外食などを楽しむことができる。季節に応じて、家族の協力を得ながら花見やぶどう狩りなどにも出かけている。車いす利用者も多いため少人数での外出が多くなっているが、普段の生活とは違った気分転換のできる機会と捉え、数多くの外出をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 取られ妄想の方、お金を持ち外出するとアルコールに走る方、お金の理解が亡くなった方が居られる為ホームでの現金は置かないようにしております。必要に応じて適宜スタッフと一緒に買い買い物は自由に買っていただいております。高額な買い物に関してはご家族様と一緒に外出して楽しんでいただいております。使用金額については事前にご家族様に連絡を取らせていただいております。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書かれる方については積極的に切手をご用意したり、ご家族様への連絡を希望される方についてはその都度リーダー、管理者等々が対応できるような体制を作っております。面会も少なくストレスを感じておられる様子が見られるときにはこちらからお電話させていただくこともあります。お声を聴くと落ち着かれる場合もあるので・・・	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節を身近に感じられるように廊下や壁に季節感のあるものを飾ってみたり、雰囲気作りにも勤めております。失禁があり匂いが充満しないように香りへの配慮も欠かさずさせていただいております。お部屋にはご家族様との写真だったり、孤独を感じないような環境にも注意させていただいております。</p> <p>(外部評価) 事業所内は床暖房が設置され、冬場でも快適に過ごすことができる。玄関から廊下にかけて、利用者の移動の妨げにならないよう不要な物を置かない配慮をしている。自由に出入りすることのできるベランダは広く、1階にいる利用者が2階にいる利用者に声をかけることもあるなど、お茶を飲んだり外気浴や会話を楽しんだりするなど気分転換を図る場所として活用されている。金魚が飼われており、利用者がえさやりをするなど目を楽しまれてきている。事業所は開設して10年が経過し、利用者の重度化も進んできているため、利用しやすいよう改修や改善に向けて検討している。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) リビングにあるソファに休んでいただいたりして居室で一人ぼっちで過ごすことのないようにみんなの中で落ち着いたスペースとなるように支援したり、各々の力に応じた脳トレをしていただき楽しんで脳の活性化ができたり、写経を楽しまれる方等々共用の場所が居心地の良い場所となるように環境づくりに努めさせていただいております。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 孤独にならないようにご家族様との写真を置いたり、ご家族様がもってきてくださったものを置いたり（お花、ぬいぐるみ等々）してご自分の部屋にいて家族を感じられるよう、また、好きな子田ができるように安全なスペースづくりにも配慮させていただいております。</p> <p>(外部評価) 居室は床暖房が設置され、冬場にも快適に過ごすことができる。事業所では居室に馴染みのものや使い慣れたものを持ち込めることを伝えており、花や観葉植物を飾っている部屋があるなど、利用者に過ごしやすい空間づくりをしている。居室内の清潔は保たれ、気になる臭いなどの対策もしている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 残された力でお二人で協力してタオルをたたんだり、食事用のエプロンをたたんでいただいたり、料理の下準備をしていた抱いたり、汚物処理のための新聞紙を一枚ずつ折って頂いたり、洗濯物を干していただいたりご自分の洗濯物を整理していただいたりとお自立の喜びを長く感じていただけるように支援させていただいております。</p>	